OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 『詞林』（創刊号～第二十号）　総目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 詞林. 1996, 20, p. 70-74 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/67392 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# 『詞林』（創刊号～第二十号）　総目次

## 創刊号（一九八七年三月）


歌合歌に及ぼした屏風歌の影響……田島　智子
―その受容と脱却―
「初恋」題詠考……佐藤　明浩
源氏物語奥入の系統……岩坪　健
―大橋本系統を中心に―
大江匡房作「大唐大慈恩寺大師画賛」について…叙持　雄二
定家筆の私家集切……伊井　春樹
―遍昭集・興風集・貫之集・恵慶集・高光集・長能集について―


## 第二号（一九八七年十一月）


清輔本古今和歌集内裏切の一分類……田島　智子
―顕昭注と基俊本校合を持つ内裏切―
『一条摂政御集』論……堤　和博
―「とよかげ」の部の特質―
師説自見集「光源氏巻々注少々」の成立過程……岩坪　健
―冷泉家における『紫明抄』の摂取―
「職人歌合」の詠風……岩崎　佳枝
―『七十一番職人歌合』の場合―
引用されたことばと擬声・凝態語と……藤田　保幸
―「引用」の位置づけのために―


## 第三号（一九八八年五月）


大島本源氏物語の本文……伊井　春樹
―『源氏物語大成』底本の問題点―
朧月夜の尚侍就任による今上妃との兼帯について
―賢木巻断章の新視座として―……山中　和也
今川了俊の源氏学……岩坪　健
―「光源氏巻々注少々」から伊予切へ―
後葉和歌集の誹諧歌……佐藤　明浩
『撰集抄』の方法……近本　謙介
―仮託説話・非仮託説話併存の意味に向けて―
紹介　岩崎佳枝著『職人歌合』……山本　唯一


## 第四号（一九八八年十月）


大島本源氏物語の本文……伊井　春樹
―書入れ・ミセケチ一覧（一）―
「桐壺」～「夕顔」諸本の検討……大谷　晋也
―データベース活用の初歩的試み―
紫上の論―中の品の女性として―……胡　秀敏
定家所用本『狭衣物語』……西臺　薫
―『百番歌合』依拠本文の考察―
大江匡房作「大唐大慈恩寺大師画讃」について・続考

……觚持　雄二

第五号（一九八九年四月）

藤原登子について……島田とよ子
徳川美術館蔵『住吉物語絵巻』の絵詞について…伊井　春樹
花屋玉栄詠『源氏物語巻名和歌』（解題と翻刻）…伊井　春樹
一休宗純の林和靖賛について……中本　大
「名づける」「呼ぶ・いう」の引用論（一）……藤田　保幸

第六号（一九八九年十月）

大君論序説……渡會　敦幸
土佐光則筆『源氏物語画帖』について……伊井　春樹
きつねとゾンガラス―秋成文学の一つの背景―…姜　錫元
幕末の女流歌人・中西為子……管　宗次
「名づける」「呼ぶ・いう」の引用論（二）……藤田　保幸

第七号（一九九〇年四月）

『御裳濯河歌合』俊成判序文の検討……佐藤　明浩
『異本紫明抄』の性格……岩坪　健
―依拠本文と校異をめぐって―
往生伝としての『とはずがたり』試論……阿部　真弓
―夢を媒介として―
カリフォルニア大学バークレー校所蔵『百人一首秘註』と
中院通村の百人一首注『後十鈔』……田島　智子
言霊学者・高橋残夢……管　宗次

第八号（一九九〇年十月）

『一条摂政御集』の他撰部についての一考察……堤　和博
―詞書を中心として―
平安時代に於ける庚申信仰……島田とよ子
『御裳濯河歌合』俊成判の批評態度……佐藤　明浩
―歌合判詞の読解をめぐって―
浄土宗談議書における説話覚書（一）……近本　謙介
項目列記の「～ト」表現について……藤田　保幸

第九号（一九九一年四月）

屏風歌歌人としての貫之……田島　智子
―「草木」をめぐって―
拒否する女たち―字治三姉妹の考察―……渡會　敦幸
寛仁二年頼通大饗屏風和歌とその場面……伊井　春樹
「多情」攷……中本　大
―江西龍派詩に見える詩語の解釈をめぐって―
ロドリゲス日本大文典の不完全過去について……福田嘉一郎

第十号（一九九一年十一月）特集『是則集』注釈
第十号の発行によせて……伊井　春樹

『是則集』注釈……古代中世文学研究会
解題―坂上是則と『是則集』―……堤　和博
定家本『是則集』について……伊井　春樹

第十一号（一九九二年四月）
紫上の運命と明石の君―「初音」巻を中心に―……胡　秀敏
菊亭本『文机談』の性格……中原　香苗
―伏見宮本との比較を中心に―
『西行物語』に描かれた西行像……山崎　淳
―文明本を中心として―
『とはずがたり』に見られる『夜の寝覚』摂取の様相
―人物造型を中心に―……阿部　真弓
中世末期口語における～テゴザルと～テゴザッタ
―中世語動詞のテンス・アスペクト体系の一班―
……福田嘉一郎

第十二号（一九九二年十月）
桜が散ること―古今集桜歌の漢詩文基盤―……滝川　幸司
忠平の禁色聴許について……島田とよ子
―蘇芳（下）襲を通して―
成尋阿闍梨の渡宋……伊井　春樹
―『成尋阿闍梨母集』覚え書き―
接続詞「でも」「それでも」「ところが」「それどころか」をめぐって……赤羽根義章

第十三号（一九九三年四月）
〔資料紹介〕三手文庫蔵『古今秘抄』……近本　謙介
紫の上の退場……胡　秀敏
―女三の宮・明石の君との相対関係をめぐって―
接続詞「すると」「そうすると」
「とすると」「と」をめぐって……藤田　保幸

第十四号（一九九三年十月）
『本院侍従集』考……堤　和博
―配列に施された虚構を中心として―
源俊頼の歌学知識と和歌実作……佐藤　明浩
『弁内侍日記』における人物描写……阿部　真弓
―九条家を中心に―
『養老縁起』―解題と本文―……伊井　春樹
ラシカッタという言い方についての覚書……福田嘉一郎

第十五号（一九九四年四月）特集『松浦宮物語』
松浦宮物語の方法……伊井　春樹
『松浦宮物語』に見える須磨、明石巻の影……阿部　真弓
『松浦宮物語』における先行物語摂取の様相……中原　香苗
―弁少将の琴伝受と華陽公主との恋の場面をめぐって―

『松浦宮物語』における万葉歌利用……田島　智子
『松浦宮物語』における狭衣和歌の影響……長尾佐知子
『松浦宮物語』における漢籍利用に関するいくつかの問題
……中本　大
『松浦宮物語』と「松浦」関係説話……海野　圭介
『松浦宮物語』の構想と周辺の文芸……近本　謙介
―長谷・住吉から弁少将の造型に至る―
『松浦宮物語』における神奈備皇女の位置付け…山崎　淳
橘氏忠の官職について……滝川　幸司

第十六号（一九九四年十月）
〔資料紹介〕慶応義塾大学附属図書館蔵『西行繪詞』
……山崎　淳
『源氏物語』の引歌一首……堤　和博
―「神無月いつも時雨は……」―
釋浄弁『古今集注』所引の
『古今集』本文をめぐって……海野　圭介
引用されたコトバの記号論的位置づけと
文法的性格……藤田　保幸

第十七号（一九九五年四月）
道長詠「この世をば」歌の背景……田島　智子
―長和・寛仁年間の道長と実資―
歌人弁内侍にとっての『弁内侍日記』試論……阿部　真弓
永正八年七月二十五日御会和歌懐紙について……伊井　春樹
『狭衣下紐』の基礎的背景……川崎佐知子
思考・発話の内容節として働く「～ヨウニ」について
……藤田　保幸

第十八号（一九九五年十月）
内宴考……滝川　幸司
三巻本『枕草子』勘物考……藤本　修司
―官職についての勘物をめぐって―
源氏物語宇治十帖のことばの線……加藤　昌嘉
〔資料紹介〕内閣文庫蔵『舞楽雑録』……中原　香苗
〔資料紹介〕翻刻　新出『沢庵宗彭詩書巻』……中本　大

第十九号（一九九六年四月）特集『十七番詩歌合』
『十七番詩歌合』について……伊井　春樹
『十七番詩歌合』注釈……海野　圭介
……滝川　幸司
『十七番詩歌合』解説……海野　圭介
……滝川　幸司

第二十号（一九九六年十月）
保坂本源氏物語の本文……伊井　春樹

―「けはひ」と「けしき」―
長城の光景……大村誠一郎
―『今昔物語集』の始皇帝説話を窓にして―
『勧学院物語』と天台談義所……箕浦　尚美
鑑定筆記抄（一）……伊井　春樹
―小杉榲邨の古美術調査の世界―
文法論の対象としての「引用」とは何か?……藤田　保幸
―統語論的引用論の前提として―
『古代中世文学研究論集　第一集』（和泉書院　平成八年）
一条朝文壇の形成……滝川　幸司
―重陽宴の変容を通して―
『蜻蛉日記』上巻の最初の引歌表現……堤　和博
―いかにして網代の氷魚にこと問はむ―
長能と長保元年彰子入内屏風……田島　智子
―雲葉集八八五番・後拾遺集四七番をめぐって―
救済のゆくえ……渡會　敦幸
―横川僧都の消息をめぐって―
伝宗長作『紫塵残幽』について……岩坪　健
猪苗代兼寿『狭衣物語抄』に関する考察……川崎佐知子
「卯の花月」の歌……佐藤　明浩
顕注密勘伝本考……海野　圭介
『楞伽山伝』考……山崎　淳
―『明恵上人伝記』の一資料として―
『弁内侍日記』の執筆時期に関する一考察……阿部　真弓
宮内庁書陵部蔵『名器秘抄』考……中原　香苗
―楽器名物譚を記す楽書―
浄土宗談義書における説話覚書（二）……近本　謙介
―『当麻曼陀羅疏』の綴る『発心集』依拠説話をめぐって―
「鉄枴仙」像の受容と定着……中本　大